

# 羽咋市 道の駅 对羽咋市内経済波及効果

金沢大学 経済学経営学系 寒河江雅彦

金沢大学 人間社会環境学 原田魁成

# 産業連関表の構造

例.パンの生産に伴うマネーフロー

道の駅へ

産業連関表の構造

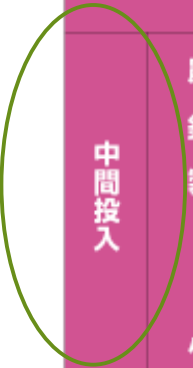
供給部門 (売り手)	需要部門 (買い手)	中間需要				最終需要				輸 移 入	総 生 産 額	
		農 林 水 産 業	鉱 業	製 造 業	小 計	消 費	投 資	輸 移 出	小 計			
農 林 水 産 業	農 林 水 産 業											
鉱 業	製 造 業			.....								
.....	.....											
小 計	小 計											
雇 用 者 所 得	雇 用 者 所 得											
営 業 余 剰	営 業 余 剰											
.....	.....											
小 計	小 計											
総 生 産 額	総 生 産 額											

小麦粉  
イースト

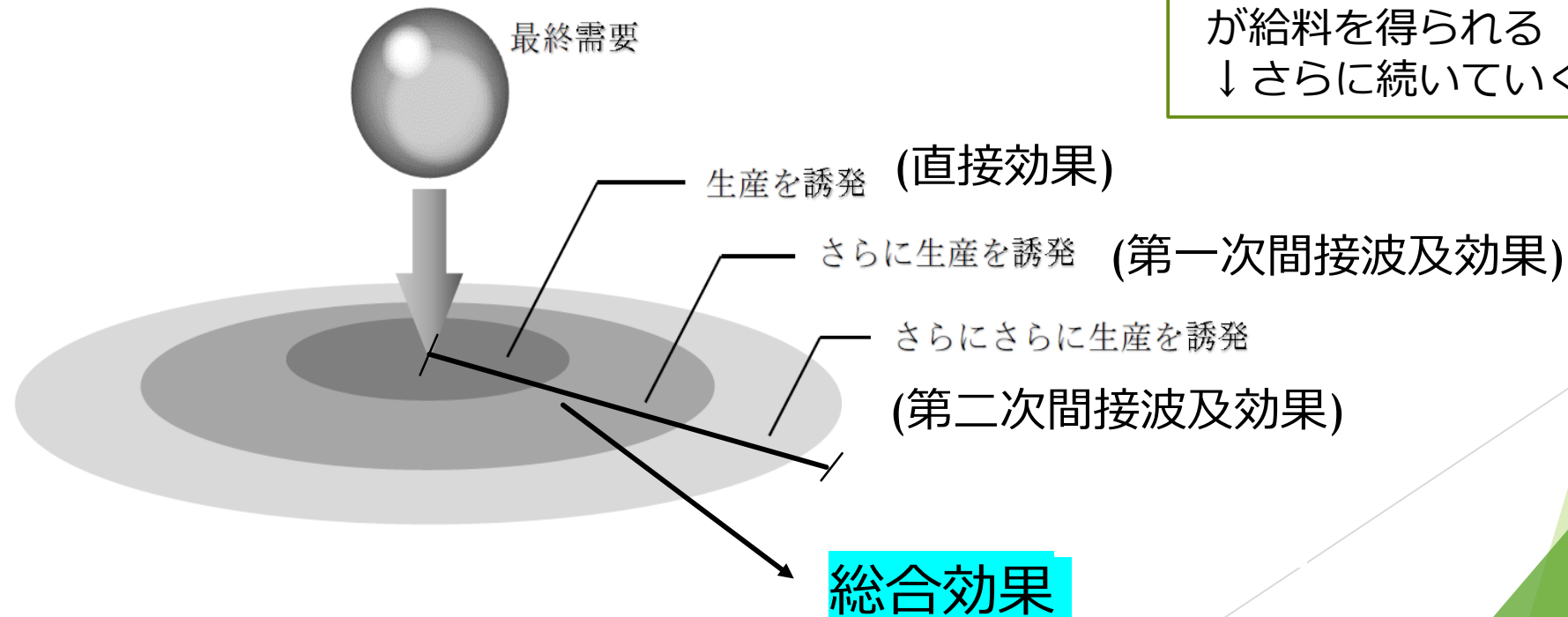
「パン」1単位あたりの販売先（供給）

「パン」1単位を生産するためにかかるコスト（需要）

需要と供給の取引関係が1つの行列に集約されている！



# 経済波及効果 道の駅の経済波及効果例



## 直接効果

道の駅運営時の市内における需要増加効果  
(道の駅商品売上の市内自給分)



## 第1次間接波及効果

需要拡大における商品・サービスの補充・  
拡充



## 第2次間接波及効果

給料を得た市民の買い物によって、さらに  
その製品の生産が誘発、そこで働く従業員  
が給料を得られる  
↓さらに続いていく...

# 羽咋市 道の駅 対羽咋市内経済波及効果

万円	最終需要	自給率
耕種農業	2,081	32.4%
食料品	19,740	13.0%
繊維工業	27	19.0%
窯業土石	103	6.4%
:	:	:

最終需要=2018年度売上+決算書項目→

## シナリオ①

・全事業所の売上値を羽咋市産業連関表における羽咋市内自給率を使用して計算

## シナリオ②

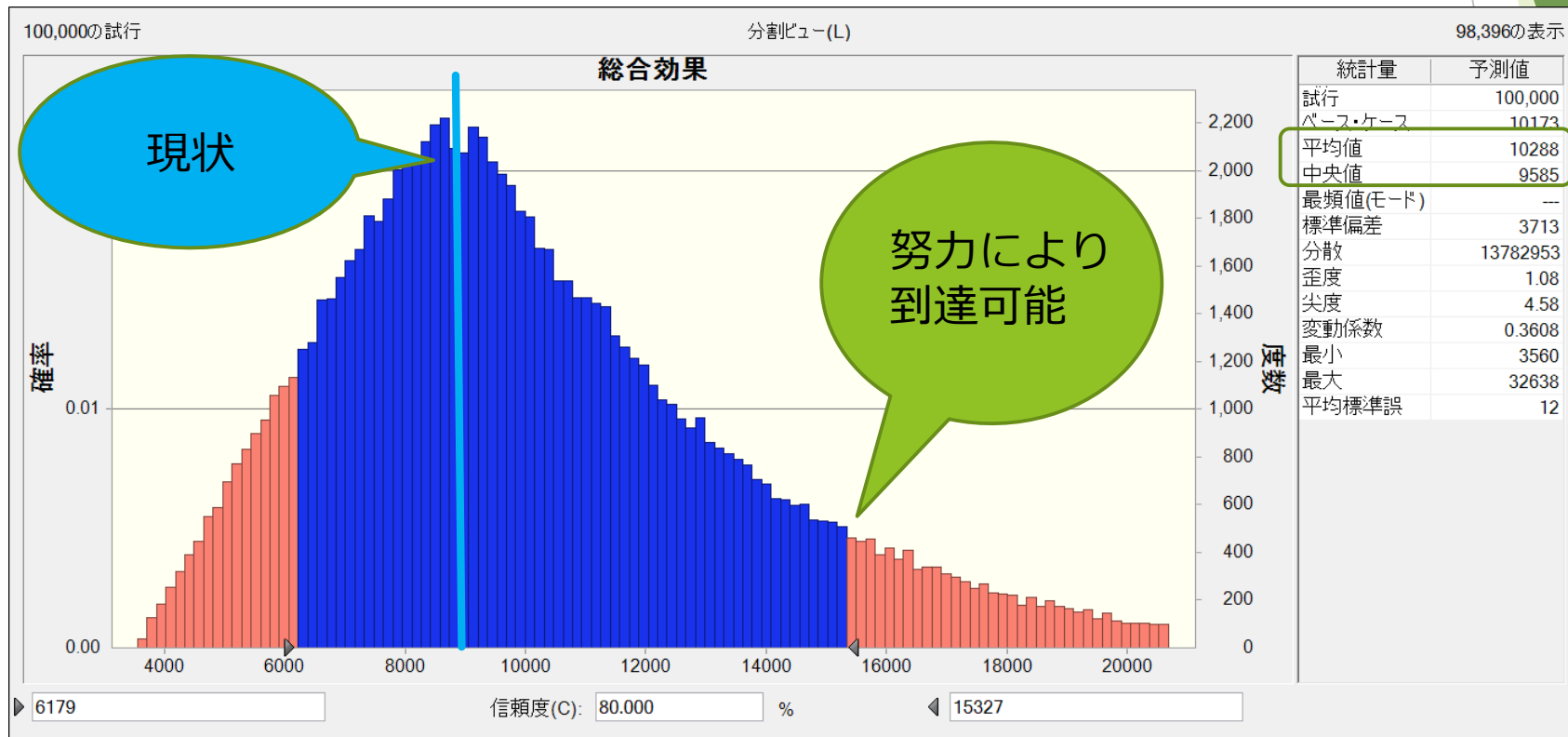
・住所が羽咋市である事業所は、自給率を「100%」と仮定して計算  
(=すべての原材料が羽咋産という仮定)  
その他は①同様の自給率を使用

万円	①全部羽咋	②羽咋自給100
最終需要	26,439	26,439
直接効果	5,997	19,360
第1次波及効果	1,252	8,063
第2次波及効果	2,953	6,330
総合効果	10,201	33,753
波及効果倍率	38.6%	127.7%
雇用誘発数	7人	25人
対2011年GDP比	0.13%	0.46%

61.4%が市外に流出！

# 経済波及効果 シミュレーション 自給率変動 + 地産比率変動モデル

自給率、地産比率の変動により  
80%の信頼区間で経済効果が  
0.6億～1.5億円となる



- ▶ 自給率：羽咋市産業関連表内自給率が最頻値をとる0～100%の分布を設定
- ▶ 地産比率：羽咋市住所の事業所における売上比率(現状75.6%)を0～100%で変動させる分布を設定

# 求められる政策

- ▶ 経済波及効果を高めるには...
  - 商品・サービスの提供が羽咋市の企業か  
→(現状) 市内企業：市外企業 = 3：1
  - 食料品（加工品）が地産されているか  
→(現状) 自給率13%
  - 市民の購買行動が活発(モバイル)
- ⇒ 市内企業の取引比率を高める
- ⇒ 食料品の市内原材料比率を高める  
(13%→23%で総合効果2,600万円増加)
- ⇒ 市民購買のニーズを満たす



「地産地消」割合の増加により経済効果が高まる

